



写真-苗取風景：手久津久



<p>主 な 内 容</p>	決算審査特別委員会委員長報告……………	2
	一般会計補正予算……………	4
	一般質問に3名が登壇……………	6
	議決条例・陳情書・議会のうごき……………	10
	諸般の報告……………	11
	読者の声・編集後記……………	12



平成29年度

平成30年第3回定例会は、9月6日から20日まで15日間の会期で開催しました。

初日は、議長による諸般の報告、一般質問（議員3名登壇）、報告4件があり、同意1件他2件を採択し、平成30年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、条例等の議案11件、陳情1件については各常任委員会に付託されました。

平成29年度喜界町一般会計及び特別会計の決算認定については、決算審査特別委員会に付託されました。

◆ 決算審査の主な事業の紹介

担当課	事業名	内容説明	決算額
農業振興課	木のあふれる街づくり事業	スギラビーチ公園内の遊具を整備	1,000万円
	木のあふれる街づくり事業	空港高倉の改修整備	3,500万円
	地域園芸活性化事業補助金	ハウス施設や園芸栽培で使用する材料費の補助金	1,810万円
	県営畑地総合整備事業	クリーンセンター前の農地、12haを土地改良整備	2,390万円
建設課	主要道路保全委託料	町道の保全整備	260万円
企画観光課	農林水産物輸送コスト支援事業助成金	農林水産物の輸送料金を助成	1,550万円
保健福祉課	子ども医療費助成金	18歳まで子供医療費を助成	720万円
教育委員会 (総務課)	国立大学進学応援事業費	29年度は、3名が国立大学へ進学しました	84万円
	入学祝い金	ふるさと納税寄附金を活用し、小学校から高校まで入学する生徒への入学祝い金	212万円
教育委員会 (生涯学習課)	文化財保護原材料費	中里地区、戦闘指揮所跡の老朽化により入り口にフェンスを設置	50万円

平成29年度決算審査



決算審査特別委員会委員長
上間 一寛 議員

【要旨】

決算審査特別委員会に付託されました認定第1号、平成29年度喜界町一般会計歳入歳出決算認定についてから、認定第9号、平成29年度喜界町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についてまでの9件について、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

本委員会は、審査方針として決算認定制度の意義を十分理解した上で、本会議に提出されました歳入歳出決算書、主要施策の成果に関する調書及び監査委員の決算審査意見書を参考に、9月12日、13日の2日間、執行部の出席を求め、審査の着眼点として、予算が議決した趣旨と目的に従って適正に、そして効率的に執行されたかどうか、それによってどのように行政効果が発揮できたか、それから見て今後の行財政運営においてどのような改善、工夫がなされるべきかを主眼に置き、審査を行いました。

一般会計決算審査における締めくくりは財政運営についてであります。

(監査委員の意見書の財政指数を参考)

計画性については、実質収支が黒字財政であり、標準財政規模からして適度の剰余金が望まれるところであります。実質収支額は6,940万円で収支比率は1.9%となっており、標準値は3%ないし5%が望ましいとされております。

弾力性については、人件費、扶助費、公債費の義務的経費計49.5%、前年度比2.5%の増で、その他の物件費、維持補修費、補助費等、拠出金合計で經常収

決算審査を認定

最終本会議には、平成30年度喜界町一般会計補正予算・特別会計補正予算、条例議案11件、追加提案された工事請負契約1件を原案のとおり可決。

平成29年度一般会計及び特別会計の決算認定については、9月12日・13日の2日間審査した結果、全会一致で認定すべきものと決定しました。



木のあふれる街づくり事業・スギラ



木のあふれる街づくり事業・喜界島空港:高倉



県営畑地総合整備事業:中里



文化財保護原材料費:中里 戦闘指揮所跡

特別委員会委員長報告

支比率は 85.7%と高い水準にとどまっており、財政構造の硬直化から抜け出せない状況であります。目安としては75%以下が望ましい数値であります。

住民の要望に応じて積極的な行政水準を目指したかということについては、人口1人当たりの投資額や経費等により推測できます。諸公共施設の整備状況にもよりますが、普通建設事業費の人口1人当たりの決算額は14万9,710円で、前年度と比較して12万5,603円の減となっております。

以上のとおり、計画性、弾力性、積極性の三つの観点で分析し、総合的に判断すると、今後とも有利な財源の確保、それは国や県の補助の適用であり、また交付税の見返りのある過疎債、辺地債を活用し、計画的な、しかも効率的な財政運営に最大の努力をしていただくことを望むところであります。

特別会計においては、一般会計から繰り入れ及び地方債発行などにより歳入不足を補って目的が達成されるものであり、その運営が財政運営上、大きく影響を及ぼすことと懸念されます。一般会計、特別会計全体の財務状況を的確に把握し、精査し、適切な財政運営に努力してくださるよう望むものであります。

本委員会は、認定第1号、平成29年度喜界町一般会計歳入歳出決算認定についてから、認定第9号、平成29年度喜界町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定につきましては、財政事情の厳しい中、収支の均衡ある財政運営ができていて、限られた財源の中で各種事業が推進されており、成果をおさめているものと認め、討論はなく、審査の結果、いずれも的確と認め、全会一致で認定するものと決定いたしました。

平成30年度一般会計補正予算2号

◆ 補正予算の主なもの

担当課	事業名	内容説明	予算額
住民課	カーボン・マネージメント強化事業委託料	地球温暖化改善のため体制整備、強化に向けた調査、検討を行う委託料	1,000万円
	火葬場修繕費	老朽化したサッシ、ドア等の修繕費	100万円
農業振興課	強い農業づくり交付金事業負担金	さとうきび用デトラッシャー施設整備の町負担分	1億円
	強い農業づくり交付金事業補助金	さとうきび用デトラッシャー施設整備の県補助金	1億9,500万円
	自然休養村管理センター修繕費	内装修繕や緞帳新設のため(緞帳分については、荒木集落出身、国分ハウジング社長・久保範和氏の寄付金により新設させていただきます。)	180万円
	木のあふれる街づくり事業等工事	塩道公園の遊具設置や、てくてく教室の床、壁の整備等	280万円



強い農業づくり交付金事業（生和糖業）



自然休養村管理センター

建設課	漁港整備修繕料	小野津集落バックネット整備費	97万円
	道路改良用地購入費	町道(ふくり前から空港前)道路改良のための用地購入費	920万円
	道路改良補償費	町道(ふくり前から空港前)道路改良のための建物補償費	1,200万円



漁港整備事業（小野津グラウンド）

教育委員会 (総務課)	小学校修繕費	喜界小、第一保育園のブロック塀改修費等	150万円
	中学校教育備品費	南日本ハウス株式会社 代表元山豊二氏からのご寄付を活用しICT機器の購入を致しました。	260万円
教育委員会 (生涯学習課)	学校管理修繕料	旧坂嶺小体育館の屋根修繕料	570万円
	埋蔵文化財発掘調査費	発掘調査民間委託料や図面作成委託料などの費用	1,250万円

4億2,122万追加(総額70億3,372万)

常任委員会委員長報告

総務文教常任委員会

総務文教常任委員長 榮 哲治

第3回定例会において、総務文教常任委員会に付託された議案第47号、平成30年度喜界町一般会計補正予算(第2号)の当委員会分について審査が終了いたしましたので、報告いたします。

委員会は9月11日、委員全員出席のもと、委員会日程を1日間と定め、審査に当たっては担当課長及び担当職員の出席を求め、慎重に審査をいたしました。

補正予算は歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4億2,122万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ70億3,372万3,000円とするものであります。

質疑の主なものについて

指定寄附金の使い方の質疑に、ICT関係教育備品購入のための寄附金で、備品は55型液晶テレビ1台、ノートパソコン11台、iPad、書画カメラ等であります。

町奨学資金貸付金についての質疑に、平成29年度分の医療1名、農業1名分です。

教育委員会生涯学習課について

各学校体育館の状況についての質疑について、旧荒木小、旧坂嶺小、旧小野津小の体育館の屋根を財産管理課とともに調査をしてもらった結果、旧荒木小は全面張りかえが必要、旧坂嶺小は一部、板金修繕可能で、今回、補正予算に計上いたしました。

以上、当委員会は討論なく、議案第47号、平成30年度喜界町一般会計補正予算(第2号)は原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

産業福祉常任委員会

産業福祉常任委員長 安田 英次郎

第3回定例会において、当委員会に付託されました議案第47号から議案第56号までは本会議において提案理由について町長より説明を受けましたが、さらに詳細な説明を受けるため、全委員出席のもと委員会を開催し、審査期間を9月11日の1日間と定め、担当課長の出席を求め、慎重に審査を行ったところであります。

議案第47号、平成30年度喜界町一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4億2,222万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ70億3,372万3,000円とするものであります。

議案第47号、平成30年度喜界町一般会計補正予算(第2号)は全会一致をもって原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

特別会計について

議案第48号、平成30年度喜界町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ825万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ9億3,321万5,000円とするものであります。

議案第49号、平成30年度喜界町介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ66万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ9億4,671万9,000円とするものであります。

議案第50号、平成30年度喜界町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ16万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ9,649万7,000円とするものであります。

議案第51号、平成30年度喜界町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,710万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6億2,929万3,000円とするものであります。

以上、議案第48号から議案第51号までは異議なしとみて、全会一致をもって可決すべきものと決定いたしました。

一般質問

町政のことが聞きたい

第3回定例会で3名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する
良岡 理一郎 議員

老人福祉施設の民営化について

質 要

平成30年第2回定例会（6月議会）において町長から「本町老人福祉施設の移譲法人候補者として社会福祉法人城西福祉会を決定した」との報告があり、同時に「今後は平成31年4月の移譲に向けて同法人との詳細な打ち合わせや関係官公署等との協議、手続、関係条例の本町議会への提案などを進める」と述べている。

現にこの第3回定例会（9月議会）に2つの議案、ひとつは議案第55号「喜界町特別養護老人ホーム設置等に関する条例等を廃止する条例について」ふたつには議案第56号「財産の無償譲渡について」の2議案を上げ、

議会に議決を求める予定である。

移譲法人候補者が候補者から正式に移譲法人の資格を得るには、町有財産無償譲渡仮契約書第7条（特約事項）において「この契約は、議会の議決を得た場合に仮契約を本契約とする。議会で否決された場合には、この契約はないものとする」とし移譲法人の正式決定に厳しい条件を付けてあります。これは議会の議決を求める地方自治法第96条第1項第1号及び第6号によれば当然のことである。

このような重大な意思決定を求められる、第3回定例会において、来年の4月1日の移譲日、これは移譲法人にとっては喜界園の開設日と位置付けられる、どのような喜界園が開設されるのか準備状況等を質していく。

質 問

入居定員80床の特老喜界園の直近の入居者数と入所待機者数について伺う。定員に満たないときのその主な要因は。

答 弁

老人福祉施設長
9月5日現在、入所者数は66名、待機者は22名。入所数の中には入所決定者も含む。定員に満たない主な理由は人出不足である。

質 問

民間移譲時（平成31年4月1日）の特老喜界園の入居者数（定員80床）、短期入所者数（定員20床）及び入所待機者数の見込みについて伺う。待機者解消はどのように準備するのか。

答 弁

老人福祉施設長
入居者数は60名から70名を見込む、短期入所者数10名から15名、入所待機者数は20名から30名を見込んでいる。待機者解消に向けて、城西福祉会と定期的に協議している。

質 問

民間移譲時（平成31年4月1日）の両施設の職員配置計画を伺う。具体的には特老喜界園の総人員数と雇用形態内訳（正規、

臨時、パート）、職種別（介護、看護、調理、事務）。また、デイサービスセンター喜界園の総人員数と雇用形態内訳（正規、臨時、パート）について伺う。

答 弁

老人福祉施設長
城西福祉会に任せてある。計画が届けば伝えたい。

質 問

民営化基本方針の民営化の目的で「長年培ってきたノウハウ」「医療施設や法人保健施設など複合的なグループ経営を行っているところが多く」と弾力的採用や人事面での期待を述べているわけですが、今回の移譲法人候補をどのように評価されたのか伺う。人手不足の厳しい環境に対応できるか。

答 弁

老人福祉施設長
社会福祉法人の経験は浅いが、同法人グループが社会福祉のプラトとして様々な事業展開を行い、多様なノウハウや経験を身につけていることや人材交流を図り

ノウハウの経験交流など高く評価している。

質問

民営化基本方針で述べている要請、検討項目の進捗について伺う。介護サービス利用料の介護保険給付対象外のサービスの事前協議、入所決定について「入所検討委員会」への町職員や民生委員などの参加、三者協議会（家族、移譲法人、町）の設置の検討結果は。城西福祉会「喜界園サービス連絡協議会」と喜界町「老人福祉施設運営支援委員会」の関連性について伺う。

答弁 老人福祉施設長

基本協定書において、法人の理事長から同意をいただいている。細かい部分は今後すり合わせをしていく。協議会と委員会については目的が被らない程度についてそれぞれが運営している。

質問

移譲法人との契約について、移譲先法人の運営（経営）が困難になった時、町としての利用者、町民、関係者への対応を伺いたい。

また、移譲先法人の都合で契約を解除する際、無料で貸して

いる土地の取り扱い、無償譲渡の建物等の老朽化による撤去が必要な場合、その費用はどこが負担するのか伺う。

答弁 老人福祉施設長

良好なパートナーシップ関係にあり、そのような事態を招かないよう、利用者や町民に迷惑をかけないように努める。法人の都合で簡単に事業は廃止できないと認識している。仮に議員が指摘している事態になった時は、土地は町が管理し、建物については、諸事情を勘案しながら費用負担について話し合っていく。

質問

広報きかい8月号に移譲法人候補にもかかわらず、正式決定されたかのごとく理事長のあいさつが掲載されている。議会軽視ではないか。町長の認識を伺う。

*事前通告がない質問であると
して答弁なし。



質問する
野間 弘也 議員

環境問題について

海に漂うゴミの7割がプラスチック、とくにマイクロプラスチックが問題

質要

- 世界で5兆個・10億tが漂い、2050年には魚類の総重量を超えると言われており、年間に800万t増えている。
- マイクロプラスチックとは、プラスチックが日光などで劣化し細かくなったもの。
- マイクロプラスチックをプラントンが食べ、それを魚類が食べそして人間が食べることに繋がっている。現時点では排出物と混じり排出するが、もっと細かくなると人間の血液に混じり障害を引き起こすと言われている。
- アメリカでは調査した水道水の83%からマイクロプラスチックが検出されている。本町でも多くの団体・個人の方がゴミ拾いのボランティア活動を行っています。善意ある方に「ゴミがない島になった」と笑ってもらえる日が来るためにも、行政と

町民が役割を持ち、一緒に人間の寿命健康だけではなく、地球の寿命・健康もみんな守っていくことが大切ではないでしょうか。

質問

不法投棄の箇所が見受けられるが、現状を把握できているのか。

答弁 住民課長

パトロールや情報提供により、現場を特定している。確認できない箇所については、不法投棄禁止の警告看板を設置している。設置箇所は、現在12カ所である。

質問

不法投棄の対策強化を検討しているのか。

答弁 住民課長

地域の方々の意識が最も重要と考え、現状を理解してもらうため、これまで以上に周知、広報に努める。

質問

今後、不法投棄のゴミ処理をどのように行う予定か。

答弁 住民課長

道路に散乱しているゴミは職

員が回収し、その他については、集落の奉仕作業やボランティア作業等で、対応していく。また、鹿児島県産業廃棄物不法投棄等現状回復促進事業で対応した1例もある。

質問

不法投棄のゴミを処理する予算は不法投棄者の負担であるか。

答弁

住民課長

不法投棄者の負担である。撤去した事例があると認識している。

※法律により不法投棄は1000万円以下の罰金、もしくは5年以下の懲役に科せられる。

質問

段ボールリサイクルのマテリアルリサイクル施設整備が進んでいるが、今後その他のゴミ分別、再利用の検討があるのか。

答弁

住民課長

町民の方々の御協力のもと、本年度からごみ収集回数の変更や、クリーンセンターの営業日の変更を行った。限られた人員で効率よく運営していくためには、改善しなければならぬ課題がある。ごみ分別や再利用の情報収集を行い、離島である本

町に適したゴミの分別や再利用はどうかあるべきか、内部で検討していきたい。

土壌保全・地下水保全、今できることを

質問

農薬や肥料の散布量の適正化を推進する必要があると思うが見解を伺う。

答弁

農業振興課長

農業立島を掲げている本町にとって、非常に重要な問題だと認識している。過剰な施肥や農薬の散布によって、地下水の汚染や、残留農薬、また農薬飛散の原因にも繋がる。県、JA、生和糖業、土地改良区等、関係機関で毎月1回の定例会を開催し農林業技術連絡協議会を行っている。その中でも、適正使用についての話がされている。正しい知識を持っていても、実践しないと意味がない、その辺も含めて研修会について検討し、サトウキビや園芸の各部会、管理機関であるJA、県、生和糖業などと連携し、使用方法について適正化を周知する。数年前に、県の職員を招いて、一度研修会を行った経緯もある。

ゴミのポイ捨て抑制や安全面から道路沿いの雑草伐採の強化を

質問

定期的な町道・農道沿いの雑草伐採が必要であるが対策を検討しているか。

答弁

建設課長

町道について、交通量の多い幹線、また百之台線等の観光客が通る路線を中心に実施している。その他の路線についても、計画的に実施している。今後も定期的に草刈りを実施したいと考えている。

答弁

農業振興課長

農道については、基本的には個人の管理だと認識している。町でも農道管理の委託料として、毎年予算を確保し、通行料の多い箇所や、観光面、景観に配慮しながら場所を選定して、毎年実施している。
また農地水組織（緑サークル）でも対応している箇所もある。農地水組織については、広域化を進めており、広域化すること町全体をカバーできると考えている。一本化に向けて後押しをしている。

町道沿いの雑草伐採は年何回実施されているか。

答弁

建設課長

予算内のため1年に1回が主である。



質問する
榮 優太 議員

町営住宅のスズメ糞被害対策について

質問

町営住宅（大筋団地）A棟のスズメによる被害対策について、スズメはトドメドリであり、年間を通して同じ場所に生息し、季節により移動をしない種類である。また、秋には100羽以上で群れをつくる習性のある鳥で、日本の鳥類の80%が渡り鳥であり、少なからず渡り鳥とスズメの接触によるウイルスの感染のおそれもゼロではないと思う。例を挙げれば、タイやベトナムでは人に感染して死者も出た。感染した鶏の糞を含んだ水を大量に摂取してしまった特

殊な事例であります。毎日、足の踏み場もない一面の廊下にスズメのふんを踏みながら靴を玄関の中で脱ぎますので、糞が室内に入り感染するおそれもあるのではと入居者は不安になっている。また、スズメの死骸が多く見受けられ、特にひなが落ちて玄関前に死んでいることが頻繁にある。夜は周りが見えな

いため、ひなの死骸を踏みつけて歩いていくことも多々あり。子供たちの生き物の命の教育、また、衛生的にもよくない環境の中で、我慢して入居者は生活している。早急な対策が必要である。

質問 町営住宅（大筋団地）A棟のスズメ糞被害による対策はできないか。

回答 建設課長
従来から鳥獣の糞被害、鳥獣の防除対策等については、入居者が行うことを基本方針としているので、建設課として検討はしていない。

質問 昨年から何名かの入居者がスズメ被害による対策を要望しているが、できない理由は何か？

回答 建設課長
理由としましては、1点目と同じ考えで建設課はやっている。できない理由は1番目でお答えしたような理由である。

質問 スズメの糞、またはひなの死骸が大量に通路や玄関前にあり、不衛生である。安心安全な町づくり、住みよい町にしなければならぬ。町が管理者であるが、町の管理運営の考えを伺う。

回答 建設課長
糞（ふん）、ひなも落ちていくということですが、そういう共用部分、階段、廊下あたりについても、入居者の皆様が協力しながら清掃を行っていただきたく考えている。また、安心安全な町づくり、住みよい町づくりに関しては、この住宅に限らず喜界町全体のことににかかわってきますので、町民の協力をいただき推進していきたい。

質問 今年度から、あゆみ幼稚園で試験的にスタートした3歳児3年保育であるが、成果と課題、今後の予定、また、3歳児3年保育を、のぞみ幼稚園でもできないか。

回答 教育長
3歳児保育の成果や課題、今後の予定について、平成30年8月1日現在、あゆみ幼稚園の3歳児は32名です。新規入園者17名、保育園からの入園者10名、編入など5名。3歳児ですので、入園前の生活経験、発達段階すなわち排泄、食事、衣服の着脱、言葉などの個人差が大きいという状況がある。1学期間、保育を実施した成果としては、

- 1：排泄、食事、衣服の着脱、言葉など、一人一人に合わせた指導・支援や、家庭との連携を十分に図ってきた結果、子供たちはできることが少しずつ増えて、自分でできた喜びと自信を持たせることができた。
- 2：同年齢や異年齢の友だちとのかかわりの中で、相互に刺激し合い、さまざまなものや事柄に興味・関心を持つことができた。
- 3：幼稚園生活を楽しみ、喜んで登園している。
- 4：子供の社会性の発達。挨拶やコミュニケーションなどが得られてうれしいという保護者のコメントなどがある。また、3歳児保育を実施したことにより、待機児童数がゼロ

となつている。

一方、課題としましては、施設の不便さが指摘されており、あゆみ幼稚園はもともと小学校でしたが、7年前の開園にともなうて施設設備の改築・改造が行われた。それでも、3歳児にとっては水道の高さ、器具の使用が挙げられている。さらには、預かり保育、旧上嘉鉄幼稚園の園舎を利用してはいるが、その人数が増えて、登録者数が55名、1日の利用者は40名弱ですが、預かり保育室が手せまになり、トイレの数も少ないという状況になつている。

3歳児保育をのぞみ幼稚園で実施することにつきましては、3歳児を持つ保護者の意向調査を行い、その実数等を基に検討すべき課題だと認識しており、「三つ子の魂百まで」ということわざにあるように、3歳児保育を含め幼稚園教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な教育活動である。今後さらに施設・設備の改善や、保護者、地域との連携をもとに、教育活動の充実に努めていきたいと考えている。

◆ 議決条例・陳情書の報告 ◆ (議長は裁決に含まず。)

議案	内容	賛成	反対	採決
議案52号	喜界町アリモドキゾウムシ等防除条例の制定について	11	0	原案可決
議案53号	喜界町子ども医療費助成条例の一部を改正する条例について	11	0	原案可決
議案54号	喜界町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	11	0	原案可決
議案55号	喜界町特別養護老人ホーム設置等に関する条例等を廃止する条例について	10	1	原案可決
議案56号	財産の無償譲渡について	10	1	原案可決
議案57号	町営住宅の明け渡し等請求に関する訴えの提起について	11	0	原案可決
議案58号	喜界町ごみ焼却施設建設工事の工事請負契約の締結について	11	0	原案可決
陳情第3号	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	—	—	継続

議会のうごき(9月~12月)

- 9月6日 平成30年第3回喜界町議会定例会(一般質問等)
- 9月11日 常任委員会(補正予算等審査)
- 9月12日 決算審査特別委員会(説明・審議)
- 9月13日 決算審査特別委員会(説明・審議)
- 9月20日 平成30年第3回喜界町議会定例会(最終本会議)
- 9月30日 東京喜界会(議長・峰山議員)
- 10月19日 臨時会(所属委員会改選)
- 10月23日 町村監査協議会研修会(峰山監査委員)
- 11月3日 鹿児島県人世界大会(議長)
- 11月9日 全員協議会及び議員研修会(議長)
- 11月10日 伊佐市市制施行10周年記念式典(議長)
- 11月14日 各種会議(議長)
- 11月16日 平成30年度第2回大島地区消防組合議会定例会(総文委員長)
- 11月17日 奄美群島農業祭(議長)
- 11月19日 後期高齢者医療広域連合議会(議長)
- 11月20日 離島振興市町村議会議長会全国大会(議長)
- 11月21日 町村議会議長全国大会(議長)
- 12月上旬 平成30年第4回喜界町議会定例会(一般質問等)
- 12月中旬 平成30年第4回喜界町議会定例会(最終本会議)

ご案内 次の議会は、12月上旬を予定しています。

午前9時30分 開会 皆様の傍聴をお待ちしています。
 また、喜界町ホームページでは、議会開会中の様子をインターネット中継でご覧いただけます。
 (動画配信サイトで「喜界町議会定例会」を検索していただき、録画もご覧いただくことができます。)
 お問い合わせ 喜界町議会事務局 電話 65-1115

*議会だより172号9ページの上段中、産業福祉委員会の委員長報告かかる安田委員長の肩書が「総務文教委員長」と表記されておりました。正しくは「産業福祉委員長」の誤りです。お詫びして「訂正」いたします。

諸般の報告

議長 外内 千里

◆ 去る6月26日、奄美市において屋久島・奄美JACチャーター機を利用して交流事業に合わせた交流会に出席しました。交流事業は奄振事業で、奄美・鹿児島航路の屋久島宮之浦港への寄港を機会に、世界自然遺産登録を見据え、今後の交流人口の拡大の検証を図るもので、屋久島・奄美間をサーブ機で来島しました。翌日、奄美・宮之浦間を船で移動するルートを検証するもので、町長、議員、観光協会、商工会、区長、各種団体長、ほか県の関係職員、総勢36名で、奄美からは本島の市町村長、議長、各種団体長、県関係職員、合計35名が出席いたしました。今後の交流人口拡大を図るために、沖縄・奄美・屋久島との連携も重要であると確信しました。

りにあらためて敬意を表するものです。

計画案、収支予算案及び賦課徴収方法案が認められ、他役員改正がありました。

◆ 7月11日、大島支庁奄美会館で、平成31年度公立高等学校生徒募集定員策定等に係る地区説明会が開催されました。大島本島と喜界町の中学校、高校の校長、PTA会長、同窓会長、市町村長、議長が出席し、県高校教育課の中島参事より、平成30年度募集定員策定過程、結果及び31年度定員募集の策定のスケジュール、課題について、説明がされました。

◆ 7月18日、平成30年度防衛省全国情報施設協議会総会が、参議院会館で開催されました。平成29年度事業報告、収支決算報告、30年度運動方針、収支予算案が認められました。国会開会中により国会議員による祝辞、宇都隆史議員による講演はとりやめになりましたが、意見交換会で皆様の御意見を拝聴することができました。

◆ 8月2日、鹿児島市民文化ホールにおいて、市町村政研修会が、市町村長、町村議会、市町村幹部職員を対象として開催されました。「地方創生のイメージ戦略」の演題で、法政大学名誉教授の岡崎昌之氏が、また「日本の発酵王国鹿児島」の演題で、農学博士の小泉武夫氏が講演されました。

◆ 第43回県消防協会大島支部消防操法大会が、大和村の奄美フォレストポリスで開催されました。本町は小型ポンプの部で2位となり、ポンプ車の部では7チーム終了段階で成績がトップであったが、豪雨により、し引きで決定となりました。優勝には至らなかったことが残念ですが、団員の諸君の頑張

◆ 7月24日、奄美市において、奄美群島さとうきび価格対策協議会第45回総会が開催されました。平成29年度事業報告、収支決算書が承認され、平成30年度事業

◆ 8月12日、三反園知事が「知事と語ろう車座対話」の出席のため来島され、喜界町夏まつりのステージでは、禮久県議と舞台挨拶、太鼓での出演をされました。翌13日に議会との意見交換に出会され、6名の議員より、サンゴ研究所について1点、埋蔵文化財について1点、村田新八について1点、防災について1点、スポーツ振興について1点、航路について1点、見解を求めております。時間の都合で詳細な答弁はいただけませんでした。後日、担当課より連絡させるとのこと、今後の議会の取り組みの課題となっております。

喜界町 選挙管理委員会の 異動報告

任期

2018年10月2日～

2022年10月1日

.....

委員長

益 一幸氏(荒木)

委員長職務代理者

西 徹彰氏(小野津)

委員

美沢 勝秀氏(上嘉鉄)

委員

山口 政照氏(城久)

板井美代子

わたしがはじめて喜界島に来たのは30年ほど前。再来は2009年の皆既日食でした。スギラビーチに家族で1週間ほど、キャンプ。幻想的な瞬間を多くの方々と共に過ごし、忘れられない思い出になりました。

その後も度々訪れ、島の方々とお会いしました。わずか数日の滞在でも、私たちの五感を十二分に刺激し、心の底に沈んでいた色んな感情が湧き出て来るような気分でした。

早町港からの風が吹き抜け、花良治ハウスで聞いた波の音が心に響き、阿伝を歩くと月橋が香り、スギラでいつまでも見上げた星空。こんな贅沢な恵みを捨て置き、一体今まで何を求めて生きてきたのか。感傷的になってばかりでした。そしてとうとう島に住むことになりました。

ですが、移住へのきっかけになったのはわたしの感傷ではなく、息子の希望でした。特に公募があったわけでもないのに、彼が転校してでもこの島に来たかった理由は珊瑚研究所での活動です。最近では地方での子育てや島留学も人気になりつつありますが、ただ、自然豊かなところで暮らすだけでは移住の勇氣はでません。本気で引越してきたのは、ここに真の学びの場があっ

たからです。2年前から参加したサイエンスキャンプ。この珊瑚広がる海をフィールドとした珊瑚研究所の先生に師事したい気持ちが背中を押したようです。

去年の春には早町にフランスを出発した科学探査スクーター船タラ号が寄港しました。その時も話を聞きたくて島を訪れました。タラ号はサンゴ礁を調査するために2年以上の年月をかけて太平洋上を10万キロ近く航行する途中でした。海洋の表面積の0.2%に満たないサンゴ礁は多様な海洋生物の30%が生息する場です。つまり、様々な海洋生物や人間にとってもサンゴ礁の健康状態はとても重要な意味を持つのです。喜界島もまた、重要な意味を持つ島。ここでの学びはあらゆる世界の学びに通じます。WiFi環境や借家を整えるのは学びの風を吹かせるために必要不可欠です。島の大切なことを守りながらも、未来の子供達のために地域ICTや住まいへの取り組みにも、是非興味を持っていただきたいです。そしてまた二つの進化を見守っていたきたい。

ここには何故か懐かしい場所があり、人がいる。喜界島はヒトのもっとも昔の思い出を、そしてその進化を珊瑚の中に仕舞い込んでいるからかもしれません。

編集後記

今期の議会も早いもので折り返し点で任期があと2年となりました。

広報委員会は、より多くの町民の皆さまに読んでいただけるよう文字や数値は最小限に留め、写真など視覚でイメージできるように努力して参りました。

また、読者の声欄にも多くの方に、町民それぞれの思いを自分の言葉で書いていただきました。

議会も改革中です。インターネット中継や質問形式も二問答形式に改め定着しつつあります。議会傍聴される方も増えつつありますが、音声が聞き取りにくい、空調が寒すぎるなど改善要望もいただいています。

今後とも、皆さまの身近な「議会だより」になれるよう努力して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

文責 良岡 理一郎

喜界町議会広報委員会

委員長 生駒 弘
副委員長 河上 弘仁
委員 良岡 理一郎
委員 野間 弘也
委員 峰山 恵喜光
委員 榮 優太